

令和3年12月定例教育委員会会議録

日 時	令和3年12月17日（金）午前10時00分～午前11時10分			
場 所	扶桑町総合体育館			
出席者	教育長	澤木貴美子	生涯学習課長	仙田剛宏
	教育長職務代理者	加藤高周	文化会館長	小川健
	教育委員	松山信雄	学校教育担当主幹兼指導主事	
	教育委員	千田まち子		田口人士
	教育委員	江口夏世	学校教育課主幹	戸田知孝
	教育次長兼学校教育課長		学校教育指導員	大澤外美
		志津野郁		
議 題 及 び 結 果	2 協議事項			
	(1) 指定校変更について			承認
	(2) 令和3年度12月要・準要保護児童生徒の認定について			承認
	(3) 後援依頼について			不許可
	(4) 当面の諸課題について			
	3 連絡事項			
	(1) 行事予定表について			
	4 その他			
	(1) 12月定例会一般質問の報告について			
	(2) その他			

## 令和3年12月定例教育委員会会議録

日時 令和3年12月17日（金）

午前10時00分

場所 扶桑町総合体育館

### 1 あいさつ

### 2 協議事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事 教育次長	（1）指定校変更についてお願いします。 別紙1をご覧ください。就学指定校の変更です。中学校への就学指定校につきましては、お住まいの校区の中学校に4月より進学しますが、申請理由にありますように、いずれの方も小学校の友だちと同じ中学校へ進学させたいということです。高木西・福塚地区の11名の方々に、本来は扶桑北中学校への進学ですが、申請理由にありますように扶桑中学校へ指定校変更を希望されています。よろしくをお願いします。
教育長	扶桑北中学校へ就学される方はみえますか。
教育次長	1名みえます。
指導主事	ただ今、令和4年度高木西・福塚地区の進学中学校、就学指定校変更について説明がありましたが、何かご質問はありますか。ないようですので、指定校変更についてご承認いただけますでしょうか。
教育委員	はい。
指導主事	次に（2）令和3年度12月要・準要保護児童生徒の認定についてお願いします。
教育次長	続いて別紙2をご覧くださいと思います。11月申請分の準要保護生徒1名の名簿です。認定要件区分につきましては、記述説明の通りです。先月までの人数に合わせますと、児童127名、生徒82名、合計209名となりますのでご報告します。認定よろしくをお願いします。
指導主事	認定につきまして、ご質問等よろしかったでしょうか。ないようですのでこの件につきまして、ご承認いただけますでしょうか。
教育委員	はい。
指導主事	続きまして（3）後援依頼についてお願いします。
主幹	これまでに申請のないものです。後援について1件の申請がありました

	<p>のでご説明させていただきます。『発見たんけん愛知県わたしたちの地域のお仕事ブック』2022年度版』についてお願いします。[申請内容についての説明]</p>
指導主事	ただ今の後援依頼についてご質問はありますか。
教育委員	副読本というと、今までこの地域の先生方が集まって作成したものがありますが、どういうことでしょうか。
教育長	副読本は教科書ではありません。副読本というと町で負担したり親が負担したりもしています。今回申請の副読本は、営利活動ではないと思いますが、会社の推薦や、協賛金を集めるということです。愛知県全体の中で扶桑町の企業は掲載されるのでしょうか。
主幹	まだわかりませんが、県内で100社を目処に募集して作るということで、どこが掲載されるかもわかりません。
教育委員	県内の上場企業から選ばれるのでしょうか。
教育長	1社50万円の協賛金で、100社ということですからですから、選ばれるでしょうね。見本のような小学校版の市の副読本がありますが、小学校3年生の社会科では、地域の工場や地域の仕事など、身近なところでの学習に使えます。
指導主事	小学校3年生で使用する副読本「わたしたちの町ふそう」は町で作っています。
教育委員	小学校版は、必要はないですね。この愛知県版は、無料配布ですね。
教育委員	愛知県版ですと100社ぐらいは、有名な会社は出てくると思いますが。ただ、その会社の宣伝にならないでしょうか。
教育長	そうですね。事業内容にあるキャリア教育ということからは、ちょっと考えねばなりませんね。
教育委員	見本を見てみると悪くはないですね。作り方しだいで、何をやっている会社かわかりますね。
教育委員	扶桑だけであれば、地域の学習に役立つとは思いますが。
教育委員	町から県へ広がれば、将来の参考の手引き、進路を決める参考にならないでしょうか。
教育委員	高校生ぐらいに配布ならまだわかるが。中学生に配布はどうでしょう。
主幹	近隣の市町の状況も聞いております。協賛金があるということで営利目的ではないかということで断られた市、過去にその市独自の内容だけを取り上げた小学校版は作られたことがあるということで小学校版に関しては後援を認め、今回の愛知県版は県全体であるので県が後援をすればよいということで断られた市、また、他の地区にも申請されていますが教育委員会が来週ということでまだ諮られていないという情報も得ています。
教育委員	まだ県の教育委員会の後援もついてないのですね。

主幹	そうです。
教育委員	それは、どこの市町でもこの申請については考えられますよ。
教育委員	岐阜市版は、なかなかいいですね。会社の内容が写真を使ってわかりやすく書いてありますよ。でも悪くはないが、何も知らない子どもが誘導されることも考えられますね。
教育委員	それであれば高校生ぐらいがいいのではないか。
指導主事	キャリア教育については、小学校からやっています。中学校に配るものも有効かとは思いますが、協賛金を募るところが皆さんの引っかかる場所ですね。
教育委員	選ぶ基準と子どもたちにとってわかりやすい職業紹介になっているかどうか。本当に優良な企業が選ばれているかどうか。誰でも知っている会社が先ず入るとは思いますが、大きな会社ばかりになってしまうとどうなるのか。いろいろ問題があります。
主幹	どの企業を取り上げるかもわかりません。扶桑町の企業を取り上げるかもわかりません。
指導主事	この会社が、どの基準で選ぶのかもわかりませんね。
教育委員	愛知県で100社決めて、協力をお願いに行くということなのか。協賛をお願いするということが頼みやすいところなのか。企業は営利会社であるから協力はすると思いますが。
教育委員	会社の名前を売ろうというところは掲載に協力的ですね。後援をもらえばネームバリューもあるから、それを先ずもらってということですか。
主幹	収支についても示されていますが、100社で1社50万円の協賛金ということで、活動費として取材費・撮影費・印刷費・配送費・雑費などを、50万円を会社からいただいて副読本を配布するということです。
教育長	これだけのご意見を聞きますと課題も多い気がします。
教育委員	子どもたちの参考の手助けになるなら悪くはないと思うが、会社を選ぶ基準はどこにあるかわかりにくいですね。
教育委員	出来上がってから後援もありですか。
教育長	後援を刷り込んでしまいます。出来てからの評価はできません。
主幹	募集してから編集なのか、どうかもわからない。
教育委員	岐阜市版はなかなかいいね。
主幹	地域と連動して認めているのはいいが。今回、愛知県版ということで扶桑町にはどうかなとも思います。
教育委員	扶桑町で作っているのは、どんな感じですか。
教育長	扶桑町の副読本は、教科書に準拠して作っていて、学校の代表の先生方が集まって教育委員会主導で教科書改訂に応じて編集しています。
教育委員	3年生4年生が使用していますね。5・6年生は、ないですね。

教育長	キャリア教育に関しては職業別などの紹介はあります。授業時間との絡みからすると参考にする程度のものですかね。
教育委員 指導主事	皆さんの話を聞いていると、これは営利目的が色濃く感じられますね。中学校2年生用ですが、授業では与えるより調べて学ぶということが効果的です。今、引っかかっていることは協賛金を得て作ることに對して、扶桑町教育委員会が後援するかしないかということだと思んですが。
教育長	やはり愛知県の後援をいただいてされるのがいいのではないかと。各市町なかなか自分のところを取り上げられない、扶桑町版を作るというなら別ですが、まずは県が後援と、個人的には思いますが。
教育委員	見直した方がいいと思います。
教育委員	これは営利だと思います。県が後援するというならまだわかります。まずは、県が後援をすればいい。
教育委員	実績のある会社だとは思いますが。
教育委員	扶桑町で頼むなら、見本の市版のようになると思うが。その代わりお金を払うということになるのかな。市や町の本であれば、同じように協賛金が絡みますね。
指導主事	皆さん、50万円を集めることが引っかかっています。県の後援はわかりますが、扶桑町はちょっとということですね。
教育委員	100社は多いように思われますが、愛知県全体で考えるとどうか、また、三河、尾張、名古屋といった地域の偏りなく企業が取り上げられるかという問題もあります。
教育長	どのような出来になるか出来上がったものが想像できないものに、後援は難しいですね。具体的にこういう会社を載せる予定ですということであれば、検討の余地もあります。出来たものを見て、子どもたちに有益であれば、考えたいところですが、残念なことにそれは無理です。皆さんのご意見から、協賛金を徴収することや、どの企業が掲載されるのか出来たものに対して判断することができないなど不明な点もありますので、今回の申請については見合わせるということで、いかがでしょうか。
教育委員	その通りですね。お断りしたい。
指導主事	それでは、皆さんのご意見からこの後援依頼について断るということでもよろしいでしょうか。
教育委員	はい。
指導主事	次に（４）当面の諸課題についてお願いいたします。
教育長	別紙、扶桑町教育委員会12月当面の諸課題をご覧ください。 学校教育についてお願いします。 新型コロナの感染に関してです。今月はコロナ感染状況につきましては、小学校、中学校、職員も0です。大変ありがたく思っています。今、

話題になっています11歳以下のワクチン接種についてや、3回目のワクチン接種についても、国の動向があります。基本的には、学校での集団接種はなしで個別接種と考えられます。

泊を伴う行事も順調に進められ、12月15日には扶桑中学校の修学旅行も無事終了し、これで泊を伴う行事が全校終了しました。キャンセル料も発生しませんでした。子どもたちがコロナのために行けなかったということなく、実施できたことは本当によかったと思います。

11月26日(金)には丹葉地方事務協議会研究委嘱2年目の高雄小学校の学校公開に行ってきました。来年は本発表になります。教育委員の皆様にも来年は参加していただきます。テーマは「夢に向かい、たくましく前進する児童の育成」ということで子どもたちも先生方も、春の学校訪問の頃と思うと研究により成長を感じました。この日は、瀬戸SOLAN小学校の三宅貴久子副校長による講演会もありました。

新制服検討委員会の第2回目は12月27日に業者によるプレゼンが役場の大会議室で開かれます。年開けて第3回新制服検討委員会が1月6日に扶桑中学校の図書館で開かれ、夏服の方向性と冬服の業者の決定をします。

今、どの学校も来年の年間計画を考えていますが、特に中学校は高校入試改革による日程の大幅な変更のため苦労されています。

卒業式ですが、中学校は3月3日(木)、小学校は3月18日(金)で今年度も来賓なしで進めさせていただきます。設置者である町長はじめ町関係者の出席もなしでメッセージのみということです。教育長も出席しません。本来なら教育委員の皆様にも、子どもたちが成長して巣立っていく姿を見ていただきたいですが今年度もなしということでお願いします。在校生につきましては学校規模により会場に入れるかどうか考えていただいております。保護者につきましては、昨年度と同様に参加できます。

次に生涯学習に移ります。

文化財保護審議会12月22日(水)に中央公民館で開催されます。新成人を祝う会2022は1月9日(日)に二部に分かれ文化会館で開催されます。その他、家庭教育講演会1月16日(日)。わくわくスポーツフェスタ1月23日(日)と予定され生涯学習課の行事が続きます。

続きまして報告・連絡事項です。

2月9日に愛知県市町村教育委員会連合会理事会があります。千田委員さんが出席されます。よろしくをお願いします。

愛知県町村教育長会議はしばらくお休みです。

丹葉地方教育事務協議会につきましては、幹事会が12月24日、事務協議会が1月12日に扶桑町図書館が開かれます。よろしくお願いま

	<p>す。</p> <p>[話題として教育長より、「2021年の扶桑町の教育を振り返って」と題して、定例教育委員会出席者と1年間の振り返りをしました。]</p> <p>私からは以上です。</p>
--	---

### 3 連絡事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事 教育次長及び 各課長	<p>次に移りたいと思います。(1) 行事予定表についてお願いします。</p> <p>別紙3をご覧ください。[別紙3にて行事説明。]</p>

### 4 その他

発言者	発言の要旨
指導主事 教育次長	<p>(1) 12月定例会一般質問の報告について、お願いします。</p> <p>12月定例会は来週20日、月曜日が閉会日になります。一般質問が終わりましたので報告させていただきます。12月定例会におきまして、5名の議員から一般質問がありました。</p> <p>お一人目の矢嶋恵美議員からは、「置き勉対策その後について」でございます。「置き勉」は、「置き勉強道具」のことです。全国的に課題となっています「置き勉」について、本町の認識と現状、課題解決に向けた対策についてのご質問でした。</p> <p>扶桑町では令和元年度から、それぞれの学校でルールづくりをして、取り組みを始めていますが、現状では学校での取り組みに差があることが確認できましたので、今後校長会で話し合い、各学校の実態を明らかにして、特に小学校低学年の児童については配慮していくと、答弁しました。</p> <p>次にお二人目、佐藤智恵子議員からは、「特別支援学級の充実について」のご質問でした。現状の小中学校の特別支援教室及び通級指導教室の数と児童生徒数の実績をお伝えするとともに、担任教師の選定については、特に基準を設けず、校長が職員構成から判断、選定していること、また、担当教師には、各種研修への参加や情報交換を実施していると、答弁をしました。</p> <p>三人目の大河原光雄議員からは、「ウィズコロナにおける事業の推進について」で、「文化芸術活動や地域伝統芸能、その他各種団体への強化・再開への支援の考えは」という、ご質問でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができない団体には、活動費の助成や、施設利用料</p>

指導主事	<p>の減免などの支援をしており、現在、活動再開に向けての準備をしており、今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じ、利用しやすい管理運営をし、各種団体の相談等に耳を傾けて、活動成果発表の機会を新たに設けることも検討・調整していくと、答弁しました。</p> <p>澤田憲宏議員からは、「本町の食農教育の取り組みについて」のご質問でした。食育と農業体験学習を一体的に実施する食農教育について、学校では「作って育てる」ことを学習に取り入れ、小学校の「総合的な学習の時間」で、町特産の守口大根の種まきから収穫、さらに守口漬の漬け込みまでを体験し、食文化の継承への取り組みを行っております。また、学校給食でも、地産地消を積極的に取り入れる取り組みをしており、これらの取り組みを継続していくと、答弁をいたしました。</p> <p>最後に、高木義道議員から「学校給食費の補助拡大について」のご質問がありました。今年度から児童生徒第3子以降無償化事業を実施しており、県内、近隣の状況と財政を鑑み、補助拡大を行わず、来年度も引き続き実施していくと、答弁をいたしました。以上でございます。</p> <p>ただ今定例会一般質問についての説明がありました。ご質問もないようですが、その他、何かございますか。ないようですので、以上で12月定例教育委員会を閉会します。</p>
------	--